

令和 7 年度

美深町行政評価報告書

(令和 6 年度施策)

令和 7 年度行政評価（令和 6 年度施策）について、次のとおり報告する。

令和 7 年 8 月 2 8 日

美深町行政評価町民委員会 委員長 齊 藤 宏 行

美深町行政評価委員会 委員長 川 端 秀 司

1 評価の対象

第6次美深町総合計画に基づいた29の施策を評価した。

2 評価の方法

159の事務事業からなる87の主要施策について、行政評価委員会から提出された評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

※1 行政評価町民委員会 委員長 齊藤 宏行 副委員長 佐竹 仁 (◎は部会長 ○は副部会長)						
福祉教育部会	◎佐竹 仁	○花井あゆみ	宇野 育子	赤川 拳士	工藤 裕美	成田 咲映
産業経済部会	◎遠藤 伸浩	○齊藤 雄太	菅野 聖一	向井 朋博	山下 朋子	
環境行財政部会	◎村本 修二	○関下 英明	齊藤 宏行	清水 節子	佐土原 玲子	

※2 行政評価委員会（行政内部） 委員長 川端 秀司 副委員長 中江 勝規 (◎は部会長 ○は副部会長)						
福祉教育部会	◎大堀 裕康	○小林 一仙	井川 健			
産業経済部会	◎内山 徹	○中林 秀文	中村 稔	小野 勇二		
環境行財政部会	◎桜木 健一	○竹田 哲	中江 勝規	酒井 博昭		

※3 三部会の評価施策数		
福祉教育部会	11施策	〔37主要施策（56事務事業）〕
産業経済部会	6施策	〔17主要施策（43事務事業）〕
環境行財政部会	12施策	〔33主要施策（60事務事業）〕

※4 四段階評価	
A評価 取り組んでいる	B評価 概ね取り組んでいる
C評価 一層の取り組みが必要	D評価 取り組みが見られない

3 評価の経過

美深町行政評価の実施に関する取扱要綱に基づき、令和7年7月30日に第1回行政評価委員会を開催以降、8月7日に第1回の行政評価町民委員会を開催し、次のとおり行政評価を実施した。

- ・ 5月23日 1次(事務事業)評価調書作成
- ・ 6月 6日 2次(主要施策)評価調書作成
- ・ 7月30日 第1回行政評価委員会
- ・ 8月 7日 第1回行政評価町民委員会

- ・ 8月 7日 第1回各部会開催 (2次評価結果確認作業・3次評価)
- ・ 8月19日 第2回福祉教育部会 (2次評価結果確認作業・3次評価)
- ・ 8月28日 第2・3回各部会開催 (3部会評価結果確認)
第2回行政評価町民委員会

4 評価の結果

29施策のうちA評価は22施策 [75.9%]、B評価は7施策 [24.1%]、C評価、D評価はなかった。

このようなことから、第6次美深町総合計画に基づく施策については、取り組みがなされている若しくは概ね取り組まれているものと評価できる。

主要政策ごとに区分した施策の評価結果の概要については、以下のとおり。

1 人と自然が調和する快適で安全なまち		2 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち	
1 環境保全・環境衛生の推進	A	1 農業の振興	A
2 道路・交通網等の整備	A	2 林業の振興	A
3 住宅の整備	B	3 商工業の振興	B
4 土地の有効利用	A	4 観光の振興	B
5 消防体制の充実	A	5 新たな産業の振興	B
6 防災体制の充実	A	6 就労対策・勤労者福祉の充実	B
7 交通安全・防犯対策の推進	A		
8 情報化の推進	A		
9 消費生活対策の推進	A		
3 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち		4 健やかに安心して暮らせるまち	
1 幼児教育の充実	A	1 健康づくり・医療の充実	A
2 学校教育の充実	A	2 子育て環境の充実	A
3 社会教育の充実	A	3 高齢者支援の充実	A
4 芸術・文化活動の推進	A	4 障がい者支援の充実	A
5 スポーツ活動の推進	A	5 地域福祉の充実	B
		6 社会保障の充実	A
5 みんなでつくる自立したまち		集 計	
1 住民参画のまちづくりの推進	A	A評価	22施策 [75.9%]
2 関係人口の創出	A	B評価	7施策 [24.1%]
3 行政経営の充実	B	C評価	0施策 [0%]
		D評価	0施策 [0%]
		計	29施策

○ 人と自然が調和する快適で安全なまち

環境保全・環境衛生の推進

有害鳥獣への問題、とりわけクマの出没、危険が高まっているが、美深町においては地元猟友会を中心に罠の設置やハンターの確保など対策が取られているところであり、引き続きタイムリーな情報発信や巡回をはじめ、猟友会との連携など、町民の安全のために必要な対策を講じられたい。

水道・下水道施設については、計画的な整備により安心して使うことができているが、施設の老朽化の問題は、事故の発生防止や住民の生活に直結することから、引き続き対策が必要である。

循環型社会の推進については、特に令和9年度からスタートする広域でのごみ処理施設建設について、分別方法の変更などもあることから、混乱が生じないよう地域住民の声を十分に聞きながら丁寧に進められたい。

道路・交通網等の整備

公共交通の維持は、特に少子高齢化が進む地域においては必要不可欠である。車を持たない方の日常の足、町外から通学する学生など、その地域の生活に密着している。利用者数などから費用対効果の面だけを見ると厳しい状況であるが、それでも必要とされる公共交通を将来にわたって維持していくことが必要である。

道路整備については、老朽化が進む道路・橋りょうの点検・補修は計画的に実施されているほか、町内の道路の整備も適切に行われており、引き続き安全に利用できるよう整備を進められたい。

町道を中心とした除雪についても、様々な意見や要望はあるものの、非常によく整備されている。地域住民の声を聴きながら対応していると評価する。

住宅の整備

公営住宅の維持管理については、長寿命化計画に基づいて管理戸数の維持が進められているところである。住宅は老朽化によって順次更新をしてきているが、引き続き町内の状況を把握しながら、適正な維持に努められたい。

その多くが集合住宅という形式であることもあり、冬期間の積雪による問題が生じることも見られる。豪雪地帯で安全安心に生活していくためにも、住宅の構造や除排雪スペースの確保など、適正な住環境の維持管理に努めていく必要がある。

土地の有効利用

土地の有効利用については、引き続き土地形態に適した利用がなされるよう進められたい。

町内に存在する空き家の問題については、年々課題が多くなり、ひどいものはその劣化が進み危険を及ぼす可能性のある状態である。所有者が把握できる家屋については協議を進められているが、対策が難しいものも多いと聞く。容易には解決しない問題も多いが、引き続き、解体や再利用に進めるなど、町民の生活に危険が生じないよう対応に努

められたい。

公園の管理については、指定管理者によって適正な管理がされている。引き続き安全な施設を維持できるよう対応されたい。

消防体制の充実

消防・救急体制に関しては、施設、設備の整備をはじめ、人材育成を基本とした職員教育など対応がなされており、住民の安心・安全な生活が図られている。

また、近年はデジタル化の進展に加え、ドローンなど新たな機器による救命活動も進められており、特にドローンを使った救助活動においては、人が容易に確認できない部分への確認作業も可能であることから、今後更なる活用が図られるよう期待したい。

引き続き緊急時への備えのほか、地域住民個々の意識の向上を図られたい。

防災体制の充実

日ごろから災害が少ない地域であるため、地域住民の防災意識が低いことは否めないが、町としては非常時に備え備蓄倉庫の整備、備蓄品の整備や補充などは着実に進められており、有事の際に適切に対応できるよう引き続き対策を講じられたい。

全国各地では今まで経験したことのないような短時間での大雨による災害や、地震による大規模災害などが珍しくない状況にある。引き続き、定期的な情報の発信、防災訓練の実施など、あらゆる方法で地域住民の防災意識の向上を図ることが必要である。

交通安全・防犯対策の推進

交通安全・防犯対策の推進については、美深町地域安全推進協議会を中心に様々な団体で啓発活動に取り組まれている。

交通安全活動については、交通安全指導員の活動によって、子どもから高齢者まで、特に歩行者を中心に地域住民の交通安全に寄与しており、引き続き指導員の育成・確保を図りながら活動を継続していく必要がある。

防犯の観点では、近年多発している詐欺被害などにおいて、町民の生活を脅かすような事例もあると聞く。第三者からの発見が難しいため、簡単に防ぐことも難しいが、情報の収集に努め、引き続き防災情報端末機を用いた情報発信による注意喚起に努められたい。

情報化の推進

光ファイバー網は全町に整備されており、住民の利便性も高い。引き続き情報伝達が快適に行われるよう設備の維持管理に努められたい。

デジタル化の進展によって利便性向上が図られているが、場合によっては特に高齢者などデジタルに対応できない方へのサポートも必要である。

防災情報端末機については、緊急時の情報伝達手段としての役割を果たせるよう、日ごろから地域住民が利用しやすい環境を整備することが必要である。より有効的に活用するためにも、引き続き防災情報アプリの普及も進められたい。

消費生活対策の推進

消費生活対策については、特に相談業務において多様化する詐欺被害などに対応するために住民のニーズが高くなっている。

身近な相談は役場でも対応できるが、内容によっては相談しにくい案件もあり、これらについては近隣5市町村で設置している広域消費生活窓口に専門的知識をもった職員を配置し、適切な相談が受けられる体制が取られている。引き続き現状の体制を維持されたい。

以上のとおり、『人と自然が調和する快適で安全なまち』における施策評価は、A評価が8施策、B評価は1施策であり、全9施策について良く取り組まれていると評価します。

○ 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち

農業の振興

現在の農業情勢は、生産資材と人件費の高騰により生産コストが上昇している一方で、農畜産物価格はそのコスト上昇分を反映されていない状況にある。

また、全国的に農業者の高齢化が進む中、若い世代の参入が少ないため、後継者不足が深刻であり、耕作放棄地の発生や地域農業の衰退が懸念されている。

この様な状況のなか、美深町農業の振興については、従来から新規就農者等補助事業等による担い手の育成確保のほか、農地集積事業により担い手中心の農地集積を進めている。さらに集積した農地に対し土づくりや環境保全の推進、加えて小規模土地改良事業への積極的な支援により生産基盤の充実と農地の持つ多面的機能の保全に努めている。このほか「がんばる美深農業！支援事業」を中心とした各種町単独事業による新規作物への挑戦やICT等スマート農業推進などは、これからの農業を見据えた取り組みとして評価するところである。

販路拡大・PR事業も従来から取り組んでいるが、第1次産業の活性化は町の活性化に直結する事を鑑み、「特別栽培米」のもち米、アスパラ、南瓜、メロン、牛肉など、おいしい美深の農畜産物の更なるPRにより、農業者のモチベーション向上に努められることを期待する。

林業の振興

植えて、育てて、伐って、使うという50年以上にわたる長期循環サイクルによって、森林が持つ多面的機能の発揮と林産業の振興、さらに持続可能な開発目標の観点からも欠かすことのできない事業である。

しかし、森林がもたらす恩恵を受けている実態が目に見えないという課題があるなか、町有林が吸収する二酸化炭素量に対する対価として「J-クレジット制度」を活用することで、クレジット販売金額が5,764千円と可視化が可能になるとともに、森林整備に係る貴重な自主財源として大きな成果が出ている。

また、令和6年度は㈱コーセーとほっかいどう企業の森林づくり「DECORTÉ森林づくり活動協定」を締結し、森林整備事業、緑化推進事業への支援や地域林産業活性化への協力が約束されると同時に㈱SUBARUに次いで森林活動を通じた新たな大手企業との交流

につながった。

林産業担い手対策として支援している「北海道立北の森づくり専門学院」については、卒業生が地域林業事業体に採用されるなど一定の成果も見られる。

林産業における新たな財源であるＪークレジットと森林環境譲与税は、森林整備、担い手対策、経営強化並びに林産材普及促進などに有効活用され、林産業全体の振興につながっており、高く評価できる。

商工業の振興

商工会への補助により商店街の吹流しを更新し、さらにはプレミアム商品券事業を実施するなどの対策が講じられており、商店街の賑わいの創出やまちの活性化が図られている。また、令和6年度は国の補助金を活用したエネルギー価格高騰対策として中小企業等への支援金を交付し、事業継続と経営維持への支援を行っている。

「快適な住まい環境と商工業振興事業」については、「商工業担い手支援事業」と合わせ、住環境の向上や商工業の活性化には欠かすことのできない重要な事業であり、波及効果は事業者のみならず地域経済の活性化が図られており、継続した推進が必要である。なお、空き家状況や物価高騰など社会情勢の変化に対応した制度内容見直しの検討も必要である。

また、新規開業が増える一方で持続可能な事業運営を実現していくことが期待されており、経営計画・目標達成に向けた指導・相談体制など、より工夫した推進体制が必要である。

観光の振興

観光の振興については、各イベントの入込客数も増加するなど最大限の事業展開を進められており評価できる。

トロッコ王国は、体験型観光として人気であり、松山湿原等と連携した観光振興に取り組んでおり、近年の入国者数は1万人を超え増加傾向が見られている。

びふかアイランドについては、観光入込客の増加は見られたものの、びふか温泉においては人材不足の運営課題もあり、レストランの休止が続いている。さらにエネルギー価格や物価の高騰などの影響により、厳しい経営状況が続いている。地域おこし協力隊によるPR強化と地域活性化起業人の活用により、利用客の利便性の向上と満足度の向上を目指し、美深振興公社の再構築を期待する。

新たな産業の振興

チョウザメ事業は、研究の成果も現れ飼育技術の向上が認められているが、さらに販路の拡大も進んでおり、飼育研究を推進するとともにキャビアの品質向上と安定生産・販売に向けた取り組みが必要であり、より高い品質を市場で認知されることを期待する。

また、将来的な製品生産目標の見直しとそれに耐えうる体制整備が必要である。

就労対策・勤労者福祉の充実

就労対策は、上川北部人材開発センターと連携した就職訓練支援など重要な担い手や

就業対策として継続的に事業を推進されたい。

勤労者福祉資金制度は、利用がない状況が続いているが、労働者が安心・安定した生活を送るために制度として継続が必要と思われる。

以上のとおり、『地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち』における施策は、A評価が2施策、B評価が4施策であり、全6施策はほぼ取り組まれていると評価する。

○ 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち

幼児教育・保育の充実

共働きしている保護者が増えているため、園児の入園や預かりなどが多くなっている。保護者を対象にアンケートを実施しており、概ね高い評価を得ている。

自由記述で寄せられた改善意見などはセンター内で共有し順次対応しており、今後も園児が安心して安全に利用できるよう引き続き適切な管理、運営に努めていただきたい。

学校教育の充実

山村留学には全国から児童・生徒が集まり、地域と学校が一体となって特色を活かした教育が実践されている。

青少年教育交流は共働き世帯の増加や児童数の減少で希望者が減っていましたが、日中の対応を教育委員会が行うなど受入家庭の負担を軽減したことで希望者も増えており、今後も実施方法を検討しながら取り組んでいただきたい。

美深高校は一定の入学者数を確保しているが、町内からの入学者が減少しているため奨学金制度などの支援事業の効果を検証しながら効果的な支援を継続していただきたい。

社会教育の充実

社会教育に関する事業は、同日にまとめて実施するなどの工夫をしながら取り組んでいる。

放課後児童クラブや放課後子ども教室では、子供たちの学力向上を図るため、わからない学習内容を適切に指導できる人材の確保について検討していただきたい。また、小学校高学年から高校生までが安心して利用できる居場所を確保するため、気軽に利用できるオープンスペースなども検討していただきたい。

芸術・文化活動の推進

文化ホール自主事業は、町民が質の高い芸術文化に触れる貴重な機会です。今後も継続して実施していただきたい。また、写真家・深瀬昌久氏をはじめ、美深町にゆかりのある著名人に関する企画や事業の開催も検討していただきたい。

郷土の歴史資料の保存と伝承のため、文化会館郷土資料室や伝承遊学館での資料収集、整理、展示を推進し、町の歴史や文化を後世に伝える取組に努めてほしい。

スポーツ活動の推進

町民運動会の室内開催、ミニバレーボール大会の男女同日の実施など、参加しやすい内容へ変更する取組が行われている。また、町民マラソン大会に小学校のマラソン大会が合わさって開催されるなど、人口減少が進む中でも、役員や関係団体が協議しながら各種大会が開催されている。

少年団活動や未来基金を活用した子どもたちの育成支援は高く評価でき、未来基金は文化活動にも支援を拡大しており、子供たちの幅広い活動を広く支援している。

冬季スポーツ事業については、エアリアル大会の継続開催といった取り組みは評価できるが、町内出身のエアリアル選手の育成や発掘は進んでいない。今後は、町内だけではなく町外にも視野を広げた取組や支援体制が必要であり、事業を継続していくための具体的な検討が必要である。

以上のとおり、『次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち』における施策評価は、5施策すべてがA評価であり、継続して施策が展開されることを期待する。

○ 健やかに安心して暮らせるまち

健康づくり・医療の充実

各種健診（検診）の受診実績は概ね目標を達成しており、自己負担額の引き下げにより若い世代の受診者が増え、町民の健診への意識は高くなっている。

保健師等養成修学資金等貸付金制度は、対象資格や貸付金額を拡大したことで利用者も増えているが、医療・福祉・介護分野の人材不足が依然として続いているため、今後も粘り強く周知を行い、人材確保に努めていただきたい。

美深厚生病院は地域医療に欠かせない存在であり、安定的な医療サービスが提供されるよう医師・看護師等の人材確保や必要な機器等の更新など継続した支援は必要である。

子育て環境の充実

母子保健事業は1か月児検診、5歳児検診など新たな検診を追加され、妊娠から出産、乳幼児の子育てなど、母親や家族が安心して子育てできる体制になっている。今後も切れ目のない事業を継続してほしい。

不妊治療が保険適用になったが、妊娠を望む夫婦にとって不妊治療は重要なため、安心して治療を受けられるよう引き続き支援することは必要である。

また、医療費の助成により子育て世代の経済的負担が軽減され、子どもたちが安心して医療を受けることができる。

高齢者支援の充実

高齢者への各種事業は、高齢者の社会参加や日常生活の支援を通じて、健康で自立した生活を送るための重要な支援となっており、引き続き安定的なサービスが提供できるよう取組を継続していただきたい。

高齢者が健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活するためには各種事業の継続が必要であり、引き続きサービスを提供できるように進めてほしい。

また、福祉、介護、医療などの人材不足が懸念されており、利用者が安心してサービスが受けられるよう人材確保に努めていただきたい。

ほっとプラザマイルは近年、葬儀会場としての利用が増えており、公衆浴場利用者などの一般利用者とのすみ分け（エリアや入口の区分など）について検討いただきたい。

障がい者支援の充実

障がい者が自立した社会生活を送れるよう、生活・就労・相談などの支援を法令に基づき適正に事務が実施されており、今後も障がい者が安心して地域で暮らせるよう、支援体制の整備を進めていただきたい。

地域福祉の充実

社会福祉協議会は地域福祉において重要な役割を担っているため、専門職（ケアマネなど）の確保を含めた職員体制の整備に関して支援、指導を行い、地域のニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう体制を整えていただきたい。

民生委員協議会が行う見守り・安否確認活動や相談対応などの幅広い活動は欠かすことができない活動であるため、今後も引き続き支援と連携が必要である。

社会保障の充実

制度に基づく事業であり、問題なく取り組んでいると評価する。

以上のとおり、『健やかに安心して暮らせるまち』における施策評価は、6施策のうち5施策がA評価、1施策がB評価であり、継続して施策が推進されることを期待する。

○ みんなでつくる自立したまち

住民参画のまちづくりの推進

ニューパブリック協議会の買い物宅配サービスは、高齢者をはじめとした住民に定着しており、高齢者の住みよい暮らしの支援となるよう、引き続き事業の継続と周知に努められたい。

自治会活動の推進については、地域担当員やまちづくり懇談会などを通じて各自治会の現状や課題の把握に努めているが、生活スタイルの変化や情報化の進展によって、以前とは状況が変わってきている。自治会活動は地域の自主性によるものが前提であるが、課題によっては地域担当員を中心に必要に応じて行政のサポートにも期待したい。

情報発信・広聴活動については、町の公式的な伝達ツールである広報誌の発行を中心としながらも、「まちづくり懇談会」や「町長への手紙」などによる住民の声を聴く機会、さらには SNS を活用した身近な情報発信など、デジタルを用いた手法も定着しつつあるなど、新たな取り組みも評価する。

関係人口の創出

移住定住の促進については、希望者が気軽に美深町での生活に触れられるよう移住体験住宅が整備、活用されており、引き続き積極的な活用をされたい。

地域おこし協力隊の任用は、都市部からの多様な人材を受け入れ、新たな視線でまちづくりに取組める有効な事業である。引き続き、隊員の募集と定住に向けた取り組みを進められたい。

地域交流活動、ふるさと活動に関しては、交流人口の増加のためにも重要である。その中でも姉妹町添田町と美深町の青年層の交流によって生まれた商品（クラフトビール）など、地域の活性化につながる事例が生まれたことは評価できる。引き続き、その関係性を維持できるような取り組みが必要である。

チョウザメ事業は、様々な課題はあるものの、産学官連携による推進といった視点も継続して進めていくことを期待する。

行政経営の充実

効率的で効果的な行政経営のため、行政改革や行政評価によるまちづくりの推進、様々な事務事業におけるデジタル化への取り組みが進められている。特にデジタル化は急速に進展しており、DXの推進を進めるためにも専門的な人材の確保が必要である。

財政基盤確保としては、安定的な財源の確保に取り組まれている。継続して、税制への理解促進、ふるさと納税制度の利用者拡大など、取り組みを継続されたい。

職員の資質向上は、業務の効率化と住民サービス向上に直結するものである。研修制度も充実していることから、引き続き職員研修を通じた職員の資質向上にも期待したい。

公共施設の管理については、計画的に維持補修・建替え等が進められているが、特に課題としている美深町役場の建替えなど、多額の財源を要する事業が多いことから、引き続き検討が必要である。

以上のとおり、『みんなでつくる自立したまち』における施策評価は、A評価が2施策、B評価は1施策で、全3施策について良く取り組まれていると評価する。

以上、令和6年度行政評価報告とする。

美深町行政評価報告書

付属資料

令和6年度 行政評価事業一覧

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価				R6実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政 策（中項目）	評価 結果	主 要 施 策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事 務・事 業 名	進捗 状況	指標達成 状況			費用対効果	実施 方法	次年度 課題					
人と自然が調和する快適で安全なまち	1 環境保全・環境衛生の推進	A	(2) 生活環境の充実	A	A	A	1-1-2	101	びふか葬苑等運営事業	11,684	生活環境	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-1-2	102	有害鳥獣捕獲等事業	15,808	生活環境	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(3) 水道施設の適正な維持管理	A	A	A	1-1-3	103	中央簡易水道事業会計補助事業	3,727	水道住宅	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-1-3	104	中央簡易水道事業	68,279	水道住宅	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-1-3	105	北部簡易水道事業	4,072	水道住宅	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(4) 下水道施設の適正な維持管理	A	A	A	1-1-4	108	下水道事業	43,726	水道住宅	A	A	B	A	B	A	現状維持		
							1-1-4	109	下水道一般会計繰出金（補助）事業	110,297	水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持		
	(5) ごみの減量化と施設の維持管理	A	A	A	1-1-5	110	循環型社会推進事業	145,924	生活環境	A	A	A	A	B	A	現状維持				
	2 道路・交通網等の整備	A	(1) 公共交通の確保	B	B	B	1-2-1	111	公共交通の確保	20	企画/生活環境	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							1-2-1	112	交通ターミナル管理事業	6,546	生活環境	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-2-1	113	地域公共交通運行事業	23,738	生活環境	A	B	C	A	B	A	現状維持		
			(2) 道路整備の推進	A	A	A	1-2-2	114	橋梁長寿命化事業	31,361	建設林務	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-2-2	115	町道施設整備事業	31,462	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持		
							1-2-2	116	道路台帳管理業務	913	建設林務	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-2-2	117	幹線道路整備事業	45,441	建設林務	A	A	A	A	B	B	現状維持		
			(3) 人にやさしい道づくり	A	A	A	1-2-3	118	住宅地区道路整備事業	16,093	建設林務	A	A	B	A	A	A	現状維持		
							1-2-3	119	除雪対策事業	147,737	建設林務	B	A	A	A	B	B	現状維持		
3 住宅の整備	B	(1) 良好な住環境の整備推進	B	B	B	1-3-1	120	住生活基本計画推進事業	0	水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持			
		(2) 公営住宅等の適切な維持・管理の推進	B	B	B	1-3-2	121	公営住宅長寿命化事業	30,017	水道住宅	B	B	B	B	B	B	見直し			
4 土地の有効利用	A	(1) 計画的な土地利用の推進	B	B	B	1-4-1	122	土地利用計画	0	建設林務	B	B	B	B	B	B	現状維持			
		(2) 公園・緑地の整備	A	B	A	1-4-2	123	公園緑地管理事業	27,553	建設林務	A	A	B	A	A	A	現状維持			

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価			R6実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政策（中項目）	評価 結果	主要施策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.		事務・事業名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効 果	実施 方法	次年度 課題			
1 人と自然が調和する快適で安全なまち	5 消防体制の充実	A	(1) 消防力・救急体制の強化と救命の連鎖促進	A	A	A	1-5-1	124	消防設備維持管理	5, 887	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-5-1	125	消防水利維持計画	1, 485	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-5-1	126	消防指令装置及びデジタル無線機器運営計画	6, 815	消防署	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							1-5-1	127	消防団活動の推進	11, 125	消防署	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							1-5-1	128	仁宇布自衛消防隊活動補助	100	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-5-1	129	事務組合負担金	191, 085	消防署	A	A	A	A	B	A	現状維持	
			(2) 予消防・災害弱者対策の推進	A	A	A	1-5-2	130	緊急通報システム運営事業	2, 960	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
	6 防災体制の充実	A	(1) 防災体制の充実	A	A	B	1-6-1	131	防災体制強化	5, 666	総務	B	B	A	B	B	B	規模拡大	
			(4) 治山・治水事業の推進	A	A	B	1-6-4	132	施設保全事業	7, 451	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							1-6-4	133	治水対策強化事業	5, 225	建設林務	B	B	A	B	C	B	現状維持	
	7 交通安全・防犯対策の推進	A	(1) 交通安全対策の推進	A	B	A	1-7-1	134	地域安全対策推進事業	1, 997	生活環境	A	A	B	A	B	A	現状維持	
							1-7-1	135	交通安全推進事業	1, 916	生活環境	A	A	A	B	B	A	現状維持	
							1-7-1	136	街灯等維持費負担事業	7, 675	生活環境	A	A	B	A	B	A	現状維持	
			(2) 防犯対策の推進				1-7-2	137	防犯対策推進事業	90	生活環境	A	A	A	B	B	A	現状維持	
	8 情報化の推進	A	(1・2) 多様な情報提供の充実/高速情報通信網の活用	B	A	B	1-8-1 -2	138	地域情報通信システム運営事業	31, 097	総務	A	A	B	A	B	B	現状維持	
	9 消費生活対策の推進	A	(1) 消費生活対策の強化	A	A	B	1-9-1	139	消費生活相談等事業	443	生活環境	A	A	A	A	B	A	現状維持	
9			18				37			1, 045, 415									

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価				R6実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政 策（中項目）	評価 結果	主 要 施 策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事 務・事 業 名	進捗 状況	指標達成 状況			費用対効果	実施 方法	次年度 課題					
2 																				

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価				R6実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政策（中項目）	評価 結果	主要施策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事務・事業名	進捗 状況	指標達成 状況			費用対効果	実施 方法	次年度 課題					
2 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち	2 林業の振興	A	(1) 森林の保全と育成	A	A	B	2-2-1	225	町有林造林保育事業	20,358	建設林務	A	A	B	A	B	A	現状維持		
							2-2-1	226	民有林造林保育事業	9,115	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(2) 経営基盤の安定強化	A	A	A	2-2-2	227	労働環境改善事業	415	建設林務	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							2-2-2	228	林道網整備事業	2,173	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持		
							2-2-2	229	林業経営強化事業	170	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持		
							2-2-2	230	森林認証推進事業	144	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(3) 森林に親しむ環境づくり	A	A	A	2-2-3	231	緑化推進事業（植樹祭）	910	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持		
	3 商工業の振興	B	(1) 経営基盤の安定強化	A	A	A	2-3-1	232	商工業活動支援事業	56,806	経済産業	B	A	A	A	B	A	現状維持		
							2-3-1	233	中小企業支援事業	2,365	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(2) 地域経済の活性化の推進	A	A	A	2-3-2	234	交流施設運営事業	1,628	経済産業	A	B	A	A	B	A	現状維持		
							2-3-2	235	快適な住まいづくりと商工業振興事業	17,600	経済産業	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(3) 企業誘致・創業支援の推進	A	A	B	2-3-3	236	企業誘致促進事業	41	経済産業	C	C	B	B	C	C	見直し		
							2-3-3	237	商工業担い手支援事業	18,847	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持		
	4 観光の振興	B	(1) 観光推進体制の強化	A	A	A	2-4-1	238	観光推進体制支援事業	21,253	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(2) 地域資源をいかした新たな観光資源の発掘・育成	A	A	A	2-4-2	239	観光PRとイベント支援事業	10,336	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持		
							2-4-2	240	魅力ある観光地づくり推進事業	1,698	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(3) 観光施設等の充実	A	A	A	2-4-3	241	観光施設運営事業	141,087	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持		
5 新たな産業の振興	B	(1・2) チョウザメの飼育技術の確立と人材の育成・確保/チョウザメ製品の開発・販路拡大の推進	A	A	B	2-5-1 -2	242	チョウザメ振興事業	46,396	経済産業	B	C	B	B	B	B	規模拡大			
6 就労対策・勤労者福祉の充実	B	(1) 雇用の安定と確保	B	B	B	2-6-1	243	就労活動支援事業	298	経済産業	B	C	B	A	B	B	現状維持			
		(2) 労働環境の充実	B	B	B	2-6-2	244	労働者福祉支援事業	5,350	経済産業	B	B	B	B	B	B	現状維持			
7			17				43				474,263									

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価				R6実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政 策（中項目）	評価 結果	主 要 施 策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事 務・事 業 名	進捗 状況	指標達成 状況			費用対効果	実施 方法	次年度 課題					
健やかに安心して暮らせるまち	4	1 健康づくり・医療の充実	A	(1) 健康づくりの推進	A	A	A	4-1-1	401	健康づくりの推進	3, 092	保健福祉	A	A	B	A	A	A	現状維持	
				(2) 病気の予防と早期発見の推進	A	A	A	4-1-2	402	各種健診・予防保健事業	15, 655	保健福祉	B	B	A	A	B	B	現状維持	
				(3) 地域医療の確保	A	B	A	4-1-3	403	地域医療・福祉体制整備事業	7, 588	保健福祉	A	A	A	A	B	A	現状維持	
								4-1-3	404	美深厚生病院運営支援事業	322, 656	保健福祉	A	A	B	A	B	A	現状維持	
	2 子育て環境の充実	A	(1) 子育て環境の整備	A	A	A	4-2-1	405	母子保健対策事業	1, 938	保健福祉	A	A	A	A	B	A	規模拡大		
			(2) 子どもを産み育てるための経済的支援	A	A	A	4-2-2	406	子どもを産み育てるための経済支援	96	保健福祉	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							4-2-2	407	児童手当支給事業	39, 915	保健福祉	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							4-2-2	408	医療費助成事業	11, 366	生活環境	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(3) 要保護児童等への支援	A	A	B	4-2-3	409	障がい児母子通園療育指導訓練事業	1, 371	保健福祉	B	A	B	A	B	A	現状維持		
	3 高齢者支援の充実	A	(1) 高齢者の積極的な社会参加の促進	B	B	B	4-3-1	410	高齢者活動支援事業	11, 838	保健福祉	A	A	A	B	B	B	現状維持		
							4-3-1	411	ほっとブラザスマイル運営事業	19, 042	保健福祉	B	A	B	A	B	B	現状維持		
			(2) 地域包括ケアシステムの充実	A	B	B	4-3-2	412	高齢者等安心確保事業	5, 721	保健福祉	A	A	B	A	B	B	現状維持		
							4-3-2	413	高齢者介護サービス事業者運営事業	23, 571	保健福祉	A	A	B	A	B	B	現状維持		
							4-3-2	414	介護予防・日常生活支援総合事業	7, 758	包括セ	B	B	A	A	B	B	規模拡大		
							4-3-2	415	地域包括支援センター運営事業	32, 940	包括セ	B	B	A	A	B	B	規模拡大		
			4-3-2	416	高齢者等生活支援事業	9, 716	保健福祉	A	A	B	A	B	B	現状維持						
			(3) 高齢者介護・福祉施設の整備	A	A	A	4-3-3	417	特別養護老人ホーム改修事業	54, 780	保健福祉	B	B	C	B	B	A	現状維持		
	(4) 人材の育成・確保	B	B	B	4-3-4	419	人材育成・確保対策事業	5	保健福祉	C	B	B	B	C	B	現状維持				
	4 障がい者支援の充実	A	(1) 安心して暮らせる環境の整備	A	B	B	4-4-1	420	障がい者福祉・医療体制充実事業	113, 852	保健福祉	B	A	B	A	B	B	現状維持		
							4-4-1	421	重度心身障害者医療給付事業	8, 345	生活環境	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(2) 地域生活の基盤確保	A	B	B	4-4-2	422	障がい者交通費助成・障害支援区分認定審査会負担金事業	465	保健福祉	B	A	B	A	B	B	現状維持		
			(3) ライフサイクルにおける個人支援体制の充実	A	A	B	4-4-3	423	障がい者訓練等給付・地域生活支援事業	140, 046	保健福祉	B	A	B	A	B	B	現状維持		
	5 地域福祉の充実	B	(1) 地域福祉の推進	A	B	B	4-5-1	424	地域福祉推進事業	1, 066	保健福祉	B	B	B	A	B	B	現状維持		
			(2) 社会福祉協議会等への活動支援	A	B	B	4-5-2	425	地域福祉推進体制確保事業	7, 127	保健福祉	B	B	B	A	B	B	現状維持		
			(3) 地域福祉を担う人材の育成・確保	B	B	C	4-5-3	426	地域福祉人材育成確保事業	0	保健福祉	D	C	D	C	C	C	見直し		
	6 社会保障の充実	A	(1) 国民健康保険の安定的な運営	A	A	B	4-6-1	427	国民健康保険運営事業	58, 414	生活環境	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							4-6-1	428	国保市町村事務処理標準システム導入事業	1, 810	生活環境	A	A	A	A	B	A	事業完了		
			(2) 後期高齢者医療制度の円滑な運用	A	A	A	4-6-2	429	後期高齢者医療制度負担	90, 271	生活環境	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(3) 介護保険制度の適正な運営	A	A	A	4-6-3	430	介護保険運営事業	100, 959	保健福祉	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(4) 国民年金制度の周知・啓発	A	A	A	4-6-4	431	国民年金事務	5, 352	生活環境	A	A	A	A	B	A	現状維持		
6		21				30				1, 096, 755										

3次評価集計

A. 取り組んでいる	22	76%
B. 概ね取り組んでいる	7	24%
C. 一層の取り組みが必要	0	0%
D. 取り組みが見られない	0	0%
計	29	100%

2次評価集計

主要施策	妥当性		有効性		進捗状況	
A. 良好	60	69%	53	61%	38	44%
B. 概ね良好	26	30%	33	38%	47	54%
C. やや課題あり	1	1%	1	1%	2	2%
D. 課題多い	0	0%	0	0%	0	0%
計	87	100%	87	100%	87	100%

※ 1つの施策で複数評価しているものがあるため、主要施策数とは一致しない

1次評価集計

主要施策	進捗状況		指標達成状況		費用対効果		実施方法		次年度課題		事業評価	
A. 良好	105	66%	105	66%	95	60%	110	69%	38	24%	96	60%
B. 概ね良好	48	30%	48	30%	60	38%	46	29%	114	72%	59	37%
C. やや課題あり	5	3%	6	4%	3	2%	2	1%	6	4%	4	3%
D. 課題多い	1	1%	0	0%	1	1%	1	1%	1	1%	0	0%
- 実績なし	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	159	100%	159	100%	159	100%	159	100%	159	100%	159	100%

未来へ続く
笑顔あふれるまち

